

セキコデ配合シロップ

【この薬は？】

販売名	セキコデ配合シロップ Sekicode Combination Syrup	
一般名	ジヒドロコデインリン酸塩 Dihydrocodeine Phosphate エフェドリン塩酸塩 Ephedrine Hydrochloride 塩化アンモニウム Ammonium Chloride	
含有量 (1mL 中)	ジヒドロコデインリン酸塩	2mg
	エフェドリン塩酸塩	2mg
	塩化アンモニウム	5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、鎮咳去痰剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、咳中枢に作用して、咳を鎮めます。また、気道分泌を促進することで、痰を出しやすくします。
- ・次の目的で処方されます。

下記疾患に伴う咳嗽および喀痰喀出困難

急性気管支炎、慢性気管支炎、感冒・上気道炎

- ・この薬は、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が

得られないことがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重篤な呼吸抑制のある人
- ・気管支喘息の発作をおこしている人
- ・重篤な肝障害のある人
- ・慢性肺疾患に続発する心不全の人
- ・けいれん状態（てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒）にある人
- ・急性アルコール中毒の人
- ・セキコデ配合シロップに含まれる成分、またはアヘンアルカロイド（モルヒネ、オキシコドン、コデインなど）に対する過敏症の人
- ・カテコールアミン製剤（アドレナリン、イソプロテレノール、ドパミンなど）を使用している人
- ・12歳未満の小児
- ・18歳未満の肥満症、閉塞性睡眠時無呼吸症候群または重篤な肺疾患のある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・心機能障害のある人
- ・呼吸機能障害のある人
- ・肝機能障害や腎機能障害のある人
- ・脳に器質的障害のある人
- ・ショック状態にある人
- ・代謝性アシドーシス（重篤な代謝の異常により、血液が酸性に傾くこと）のある人
- ・甲状腺機能低下症（粘液水腫など）の人
- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・副腎皮質機能低下症（アジソン病など）の人
- ・過去に薬物依存のあった人
- ・高齢の人
- ・衰弱している人
- ・前立腺肥大症、尿道狭窄（にょうどうきょうさく：尿道が狭くなって、尿が通りにくくなった状態）のある人、または尿路手術術後の人
- ・器質的幽門狭窄（きしつてきゅうもんきょうさく：胃の出口が狭くなって、食べたものが通りにくくなった状態）、麻痺性イレウス（腸の動きが鈍くなり、排便が困難になった状態）のある人、または最近消化管手術を行った人
- ・過去にけいれんをおこしたことがある人
- ・胆のう障害のある人、胆石のある人
- ・重篤な炎症性腸疾患がある人
- ・高血圧症の人
- ・心疾患のある人
- ・糖尿病の人
- ・緑内障の人

- この薬には併用してはいけない薬[カテコールアミン製剤（アドレナリン（ボスミン）、イソプロテレノール（プロタノールなど）、ドパミンなど]や併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[成人の場合]

1回量	3～5mL
飲む回数	1日3回食後または食間

[12～14歳の場合]

1回量	1回成人量の2/3
飲む回数	1日3回食後または食間

●どのように飲むか？

そのまま飲むか、白湯でうすめて飲みます。

決められた量を計量カップ、スポイトなどではかり、飲んでください。

●効果が不十分な場合の対応

この薬の効果が不十分な場合は、使用が中止されます。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。飲み忘れた場合は、気がついた時点で1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、忘れた分を飲まないで、次の飲む時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

呼吸抑制（息苦しい、息切れ）、意識不明、けいれん、錯乱（意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない）、血圧低下（脱力感、立ちくらみ、めまい）、重篤な脱力感、重篤なめまい、嗜眠（強い刺激を与えないと目覚めない）、心拍数の減少、神経過敏、不安、縮瞳（ものの形が見えにくい）、皮膚冷感などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

過量使用の治療薬として拮抗剤（ナロキソン、レバロルファンなど）があります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・12歳以上の小児が使用する場合は、家族の方も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・過度の使用を続けた場合、不整脈、場合によっては心停止を起こすおそれがありますので、使用が過度にならないように注意してください。
- ・この薬を続けて飲んでしていると、薬をたくさん飲みたいとか、薬がないといられない気持ちになるなど薬物依存の症状があらわれる可能性があります。このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。また、この薬の量を急激に減らしたり、中止したりすることで、あくび、くしゃみ、涙が流れる、発汗、悪心（吐き気）、嘔吐（おうと）、下痢、腹痛、散瞳（まぶしい、物が見えにく

い)、頭痛、不眠、不安、せん妄（意識が乱れる、意識の混乱）、手足の震え、全身の筋肉・関節痛、息苦しいなどの退薬症候があらわれる可能性があるため、この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。

- ・眠くなったり、めまいがおこったりすることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・アルコールを含む飲食物はこの薬の作用を強めることがありますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえ、不眠・不安・けいれん・幻覚などをおこす
呼吸抑制 こきゅうよくせい	息苦しい、息切れ
錯乱 さくらん	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
無気肺 むきはい	唇や手足のつめが青くなる、胸の痛み、息苦しい
気管支痙攣 きかんしけいれん	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
喉頭浮腫 こうとうふしゅ	しゃがれ声、ぜいぜいと鳴る呼吸、吐き気、嘔吐、息苦しい、かゆみ、しびれ
麻痺性イレウス まひせいイレウス	吐き気、嘔吐、激しい腹痛、食欲不振、腹がはる、便がでない
中毒性巨大結腸 ちゅうどくせいきょだいきけつちょう	発熱、腹がはる、腹部の激しい痛み
重篤な血清カリウム値の低下 じゅうとくなけっせいカリウムちのていか	脱力感、意識がうすれる、考えがまとまらない、口渇、息苦しい、手足のまひ、筋力の低下、判断力の低下

ジヒドロコデインリン酸塩の同類薬（モルヒネ）であらわれる、特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。この薬でもあらわれる可能性があります。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
せん妄 せんもう	意識が乱れる、意識の混乱

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、脱力感
頭部	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない、意識がうすれる
口や喉	唇や手足のつめが青くなる、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、しゃがれ声、ぜいぜいと鳴る呼吸、吐き気、嘔吐、口渇
胸部	息苦しい、息切れ、胸の痛み、突然の息切れ、ぜいぜいと鳴る呼吸、吐き気
腹部	吐き気、激しい腹痛、食欲不振、腹がはる、腹部の激しい痛み
手・足	唇や手足のつめが青くなる、手足のまひ
皮膚	かゆみ
筋肉	筋力の低下
便	便がでない
その他	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえ、不眠・不安・けいれん・幻覚などをおこす、しびれ、判断力の低下

【この薬の形は？】

形状	シロップ剤 
	黒褐色
色	黒褐色

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ジヒドロコデインリン酸塩、エフェドリン塩酸塩、塩化アンモニウム
添加物	白糖、カンゾウエキス、ポリソルベート 80、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル、カラメル、安息香酸ベンジル、エタノール、エチルバニリン、バニリン、プロピレングリコール、メントール、香料、グリセリン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光を避けて30℃以下で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
日医工株式会社 (<http://www.nichiiko.co.jp/>)
くすりの相談窓口の電話番号 TEL(フリーダイヤル)：(0120)517-215
受付時間：9時～17時(土、日、祝日その他当社の休業日を除く)